

酒田市沖漁業者との理解促進の取組みについて

1 海面

(経過)

①海面漁業者意見交換会

R5.5.23 (6名) : 操業への支障や騒音問題等の操業への影響についての聞き取り。継続して議論することを確認。

R5.7.8 (6名) : 漁業協調策・振興策をこれから皆で考えていくという点については一応の理解が得られたことから、漁業協調策・振興策のたたき台を示すこととした。

R5.12.23 (19名) : 協調策・振興策の策定の流れについて説明。漁業協調策・振興策等検討会議では代表者が決議に参加するが、予め漁業者の意見を整理する必要があることを説明。

②海面漁業者勉強会

R5.7.25 (20名) : 加悦 幸二 氏 ((公財) 海洋生物環境研究所 事務局長 ※元水産庁) と同研究所 島主幹研究員を講師に風車による海生生物への影響、漁業を守り続けるための洋上風力との共存可能性について講演。

③海面漁業者説明会

R5.11.8 (21名) : 有望区域への整理など進捗状況、セントラル方式による基礎調査概要について説明。

④漁業協調策等に係る意見交換会

R6.4.20 (10名) : 漁業協調策・振興策検討方法についての意見交換を行った。

R6.7.13 (16名) : 漁業協調策・振興策の検討に向けた意見交換とアンケート実施の了解を得た。

⑤アンケート調査

R6.8.16~9.30 (酒田地区漁業者 110名) : 協調策・振興策に関するアンケートを実施 (33名回答)。

⑥漁業協調策・漁業振興策 (案) の作成

R6.11.15~ アンケート結果から、漁業協調策・振興策たたき台を作成・調整中。

(今後の予定)

- ・ 漁業協調策・振興策案の説明・意見交換 (年度内 3 回予定)
- ・ 漁業協調策・振興策等検討会議の開催 (3 月末)

2 内水面

(経過)

① 鮭ふ化事業者勉強

R5.7.6 孵化連総会にて酒田市洋上風力の取組みについて説明。

② 内水面漁業者勉強会

酒田市洋上風力の取組みについて説明。

R5.8.29 (県南、西置、最上第一、連合会参事)

R5.9.20 (最北中部漁協、赤川漁協、温海町内水面漁協、両羽漁協)

③ 内水面漁業者・鮭ふ化事業者講演会

- (1) 日時 令和5年9月26日(火) 14:00~16:00
- (2) 場所 山形県自治会館
- (3) 講師 神奈川大学海とみたと研究所 上席研究員 中原裕幸氏
山形県水産研究所 副所長 高澤俊秀氏
- (4) 内容 最新の風車の概要、漁業協調の国内外事例、鮭ふ化事業から見た課題、所見。
- (5) 参加者数 13名

④ 内水面漁協代表者らと R6.2.28 村山地区、R6.2.29 庄内地区、R6.3.6 置賜地区、R6.3.11 最上地区で洋上風力に係るグループワークを実施。主な意見として漁業影響に対する不安がもっとも多かった。

(今後の予定)

- ・ 海面での漁業協調策・振興策に歩調を合わせて、各漁協・生産組合員との意見交換を行い、内水面版の漁業協調策・振興策案を取りまとめるとともに洋上風力発電施設への理解醸成を図る。